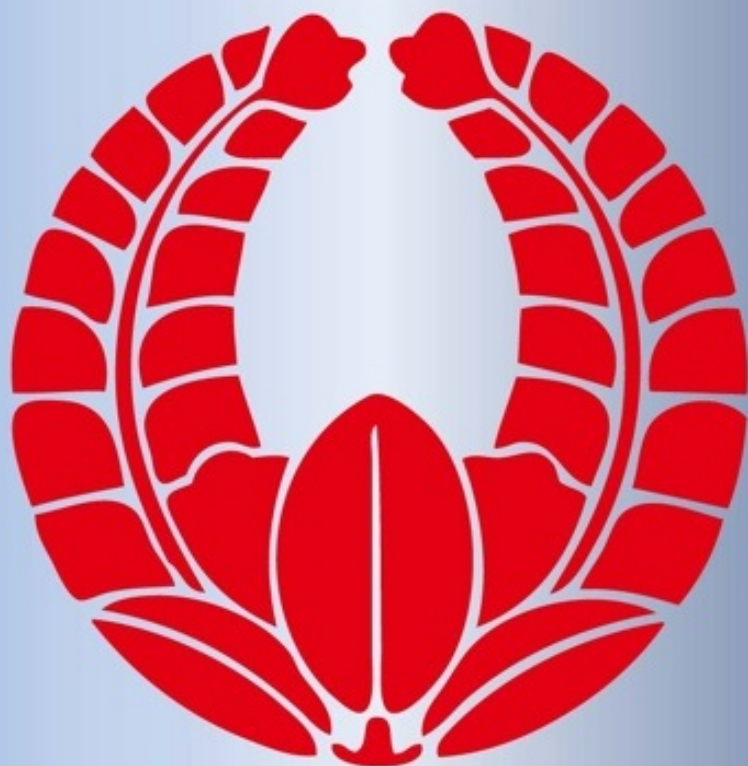


栄町



【栄町の唄】

- 鶴と亀とを 見守る鬼の 昇る藤なら 我が町の御紋
- とかくこの世は 豆腐のようで まるで四角でやわらかい

【飯田の唄】

- 能登（珠洲）の飯田は 珠洲（能登）での都 月に二七の 市が立つ
- 恵比寿大黒 飯田の町の 西と東の守り神
- 珠洲の御崎の 御所院桜 枝は越後で 葉は佐渡へ

【情愛や恋愛模様を唄った唄】

- お前百まで わしゃ九十九まで ともに白髪が生えるまで
- 好いて好かれた 二人の仲は 音も立てずに 深くなる

【めでたい時に唄う】

- めでためでの 此のやの館 鶴が御紋に 巢をかける
- 紺ののれんに 揚羽とかいて 春は鶯 来てとまる

【どどいつらしい唄】

- 娘島田に 蝶々がとまる とまるはずだよ 花じゃもの
- 娘こっちゃむけ かんざしあげる かんざしあげぬが 顔見たい
- やぶれふんどし 将棋の駒よ 角とおもたら 金が出た
- お前百まで わしゃ九十九まで ともに白髪が生えるまで
- うちの母ちゃん せんたく好きで 夜の夜中に 竿探す

【その他】

- 人の頭と 田んぼの稲は 出来がいいほど 垂れてくる
- 米のなる木に わらじを作り 踏めば小判の 跡がつく
- 今宵一夜は どんすの枕 明日は浮いたか 波枕
- 鹿が鳴こうが 紅葉が散るが わたしゃあなたに あきがこぬ
- この山ずらせば 我が町に入る 我が町に入れば お神酒に着



飯田町燈籠山祭り保存会

<http://bunanomori.com/toroyama/>

<http://p.booklog.jp/book/74313>

著者：飯田わくわく広場

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/wakuwakuhiroba/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/74313>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/74313>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ